あだちの消防（しょうぼう）



あだちちほうこういきぎょうせいくみあいしょうぼうほんぶ

安達地方広域行政組合消防本部

県内の消防本部

令和８年４月１日現在



福島県には、１２の消防本部があり、おおよそ２６００人の消防士が防火の仕事をしています。
「安達地方広域行政組合消防本部」はそのうちのひとつで、121人の消防職員が活動しています。
また、福島県でも消防防災ヘリコプター（福島空港）やドクターヘリ（県立医大）があり、県内各地に飛び立ち活躍しています。





ドクターヘリ



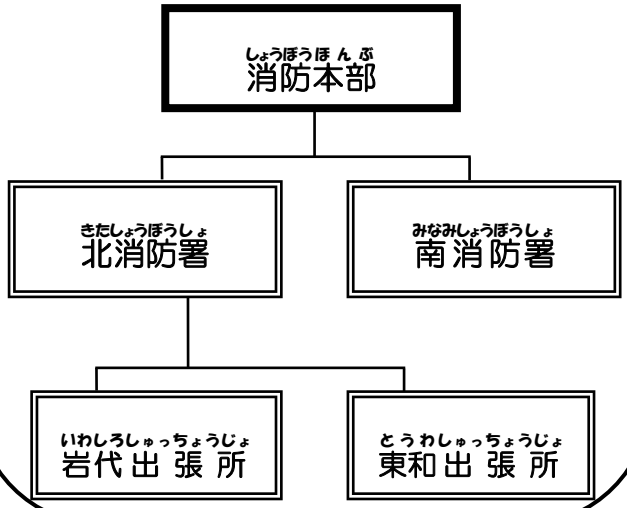
消防防災ヘリコプター

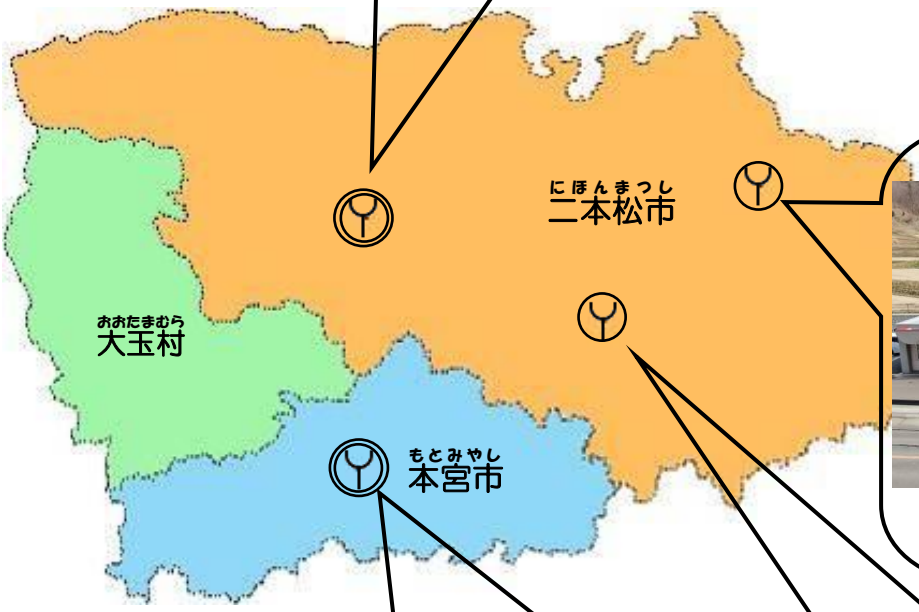
安達地方の消防署（出張所）のあるところ



消防本部・北消防署

しくみ







北消防署　東和出張所



南消防署



北消防署　岩代出張所

消防署の一日





8:30　12:00　13:00　17:30　18:30

勤務交代	車や器材などを点検する。	訓練 工場などの調査	昼食	訓練 消火栓・防火水槽・道路の調査をする	夕食	書類の整理など





22:00　0:00　2:00　4:00　6:00　7:30　8:30

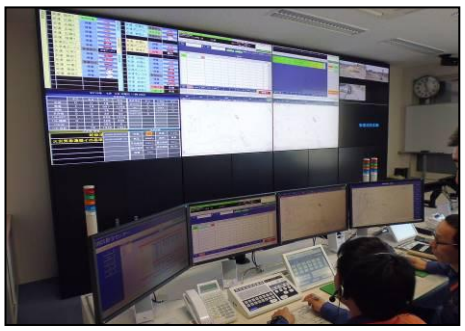
交代でわりあてられた時間の通信勤務につきます。 通信勤務は２時間です。そのほかの時間は仮眠をします。	清掃や無線機のテストなど	勤務交代（次の人と交代する）



仮眠室

すぐに出動できるように活動服を着たまま仮眠します。





通信勤務の様子

※　仮眠とは、すぐに起きることができるように「あさく眠る」ことです。

通報から出動の流れ

令和7年中の119番通報は6，712回です！

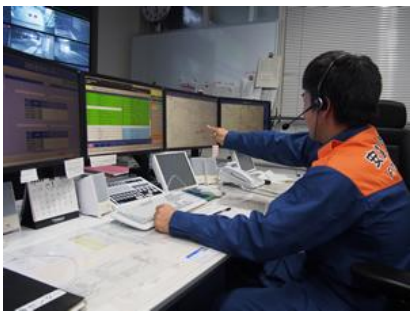






119番通報





高機能消防指令センター

通報 → 指令 → 出場 → 災害現場



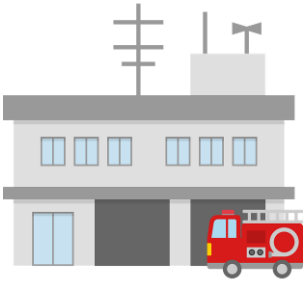












消防署の指令装置



消防署にはどんな車があるか見てみよう





指揮車（2台）

火災現場や事故現場で指揮する人が乗ります。

ポンプ車（4台）

消火栓や防火水槽、池などから水を吸い上げて

消火したり、タンク車に水を送ったりします。



水を吸い上げるホースです。



水を送る強さを見るための計器があり、計算しながら放水しています。





タンク車（2台）

（水そう付きポンプ車）

水をつんで火災現場に近づいて消火に当たります。

ホースつなぐところは、車の左右に合わせて４つあります。

この車にはおよそ２．０トンの水をつんでいます。



火災のときは、いろいろな消防車が火災現場にかけつけます。



化学車（２台）

水では消えない油火災のときなど、泡を作り消火します。

資器材運搬車（１台）



川や池で起きた水上事故に使うボートなど、大きなものを運びます。

救助工作車（２台）

火災や洪水、車の事故など、人を助けるための道具(約７０種類)をつんで現場にかけつけます。





クレーンで重いものを持ち上げることができます。



はしご車（１台）

はしごをのばすとおよそ３０メートルの高さまでとどきます。はしごの先たんから水を出して消火したり、逃げ遅れた人を助けたりします。



はしごの先たんには、大人４人まで乗せることができます。

火災のときに使うホースと管そう



管そう

ホースの先たんに取り付けて使用します。水をまっすぐ飛ばしたり、霧状に広げて放水することができます。

ホース

１本の長さは２０メートル
直径５０ミリと６５ミリの２種類
重さは約３から５キログラム
ホースや管そうと簡単につないだり、外したりすることができます。

救急車(6台)



救急車内





○　救急車には、救命士などの救急隊員が３人ほど乗って出場します。
車の中には、応急手当てをする器具のほかに、無線機や携帯電話もあり、
病院と連絡をとりあって、少しでも早く治療が受けられるようにしています。

①→ 

②→ 

③→ 

④→ 

① 吸引器　：　口の中やのどにつまった食べ物を吸いとる。
② 生体情報モニタ　：　心電図（心臓の動きを見るもの）の記録や、血圧を計る。
③ 除細動器　：　電気の力を使って不規則に震えている心臓を正常な動きにもどす。
④ 吸入ユニット　：　酸素マスクなどをつないで酸素を与える。

これらのほかにもおおよそ３０種類の応急手当資器材が救急車に備えてあります。

活動時の服装

（体を保護するため、手袋、ヘルメットなどを必ず着用します。）

火を消すときの消防隊の服装







空気呼吸器
といいます。
重さはおよそ１０ｋｇ
あります。

救助（レスキュー）隊の服装



消火に使う「消火栓」「防火水そう」

地上に出ているもの



地中にうめられているもの







地中の防火水そう



令和８年４月１日現在

	二本松市	本宮市	大玉村	計
消火栓	1102	587	390	2079
防火水そう	720	255	62	1037

火災を防ぐ仕事

検　査

建物に必要な消防用設備が正しく付いているかを検査します。





火災の原因調査

火災が起きた原因を調べて、同じような火災が起きないように予防する仕事です。



防火指導



防火教室や避難訓練の指導などをします。消火器の取扱いや、火災になったときにあわてず避難することができるように指導します。

また、高齢者で一人暮らしをしている人の家に訪問し、火災にならないように指導しています。

安達地方の消防署（出張所）にある消防車の数

	北消防署	岩代出張所	東和出張所	南消防署	計（台）
救急車	3	1	1	2	7
ポンプ車	1	1	1	1	4
タンク車	1			1	2
化学車	1			1	2
救助工作車	1			1	2
はしご車	1				1
指揮車	1			1	2
査察広報車	5	1	1	2	9
資機材運搬車	1				1
ボートトレーラー				1	1
計（台）	15	3	3	10	31

※救急車７台には非常用のものが１台あります。

消防団とは

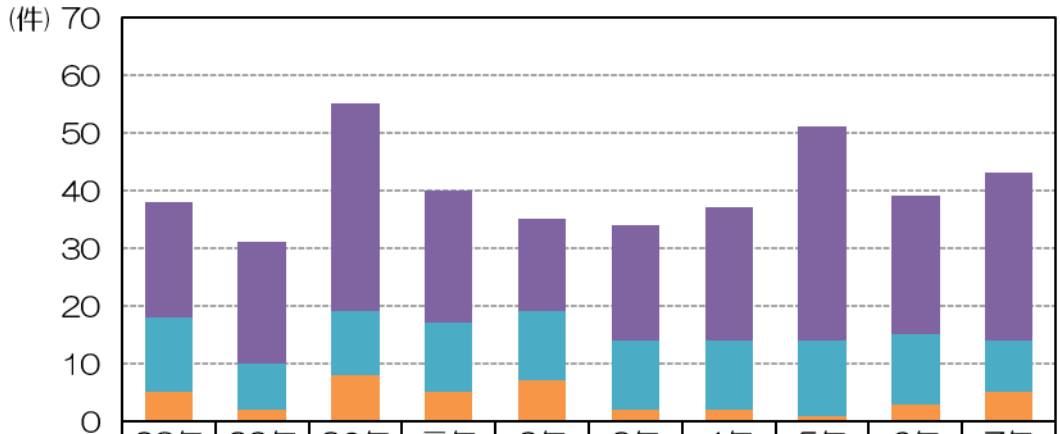
消防団の人は、いつもは会社で働いていたり、お店や農家などの仕事をしていますが、火災などが起きた時には出動します。また、消防署と力を合わせて「火の用心」を呼びかけるなど地域の人たちを守るための仕事をしています。

（令和８年４月１日現在の数）

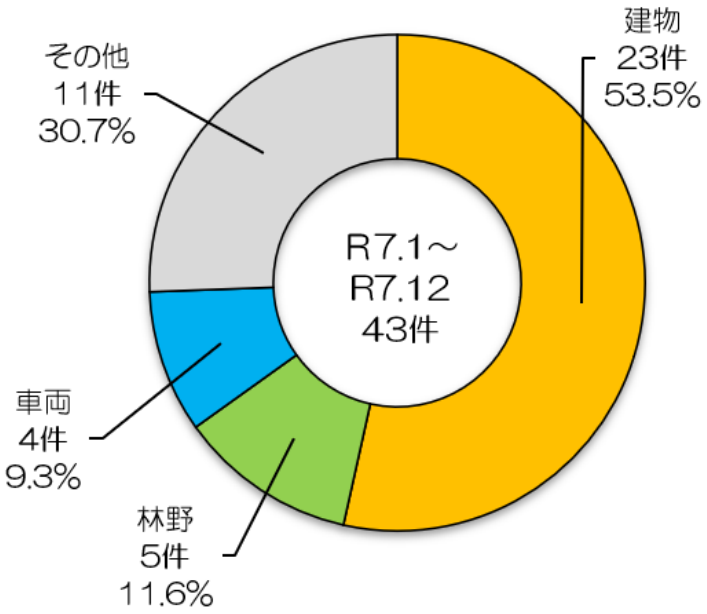
	二本松市	本宮市	大玉村	計
人員（人）	1,361	454	147	1,962
車両（台）	103	35	17	155

火災の件数

過去７年間の件数

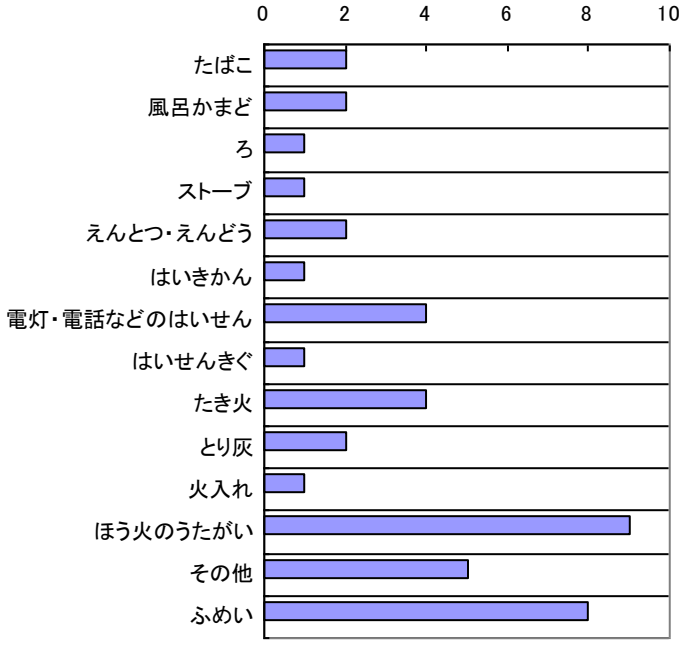


	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
二本松市	20	21	36	23	16	20	23	37	24	29
本宮市	13	8	11	12	12	12	12	13	12	9
大玉村	5	2	8	5	7	2	2	1	3	5
計	38	31	55	40	35	34	37	51	39	43



燃えたものごとの件数

（令和７年中）



火災の主な原因

（令和７年中）

救急車の出動件数と事故種別

安達地方では、令和７年中の１年間に、救急車は４，５４９件出場しました。
これは、１日あたり約13回出場したことになります。

	火災	水なん 自然災害	交通 事故	仕事中の ケガなど	運動中の ケガ	その他の ケガなど	急病	その他 転院搬送など	計
二本松市	3	2	100	35	26	468	1,819	281	2,734
本宮市	5	4	80	26	14	249	900	141	1,419
大玉村	1		22	5		53	277	5	363
高速道路			17			2	12	1	32
その他の地区						1			1
計	9	6	219	66	40	773	3,008	428	4,549

（単位：件）

安達地方では、６台の救急車がいつでも出場できるようにしています。

（北消防署２台　南消防署２台　東和・岩代出張所　各１台　※非常用救急車１台）



病気で苦しんでいる人やひどいケガをしている人を見つけたら、近くの大人に知らせるか、１１９番に電話してください。

※　消防職員は、普段から住民の方に対し人工呼吸や応急手当のやり方を教えています。





訓　練　な　ど



左の写真は、訓練塔です。
右側の建物は１７メートルの高さがあり、ロープで昇ったり降りしたりします。
また、左側の建物との間にロープを渡しそれを行き来するなどの訓練をしています。













おぼえておこう

煙は、１秒間に３～７メートル上に昇り、０．３～１メートルの速さで横に広がります。有毒ガスを吸い込むと、体が動かなくなります。（人の歩く速さは、１秒間に０．５メートル



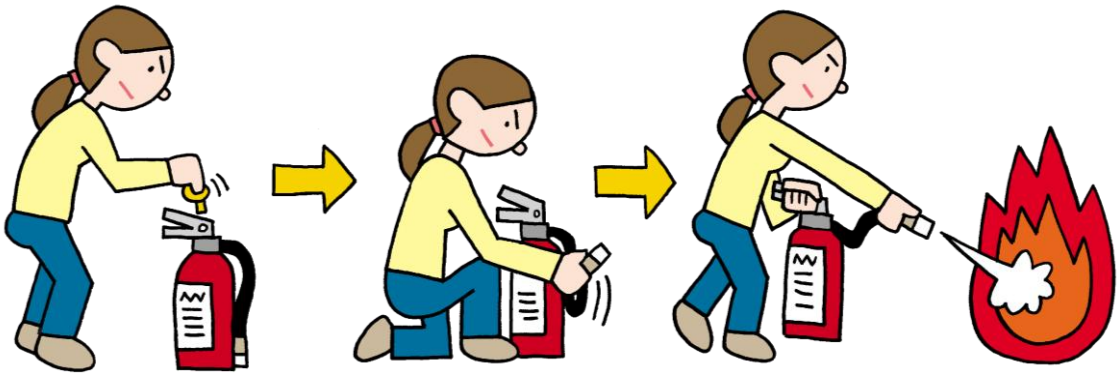




もし、とっさに建物の中から外へ避難するときは、非常口のマークを目指してすばやく出ましょう。

◎　消火器の使い方

火災を見つけたら、まずは「火事だー！」と大きな声で叫び、周りの人に知らせましょう。



①安全栓を引き抜く。　②ホースを外し火元に向ける。　③レバーを強く握る。

消火器の放射時間は１０秒から１５秒ほど、放射距離は３から５メートルほどです。

火災・救急の電話は１１９番です。

１１９番通報すると指令センターに電話がつながります。聞かれたことに対して一つ一つ落ち着いて答えましょう。

はじめに、「火災」、「救急」のどちらなのかを伝えましょう。

次に、住所・名前※自分の家ではないときは目標（近くのお店の名前や建物など）・電話番号やどうしたのかを伝えてください。

※万が一のとき、自分でも通報ができるように、普段から自分の家の住所や電話番号を言えるようにしておきましょう。

ボクはとりカエル。
「住宅用火災警報器」
についていっしょに勉強しよう！





Q.住宅用火災警報器ってなに？
家の中で火災が起きたとき、煙や熱を感知して、警報音を鳴らし、火災を知らせてくれるものです。

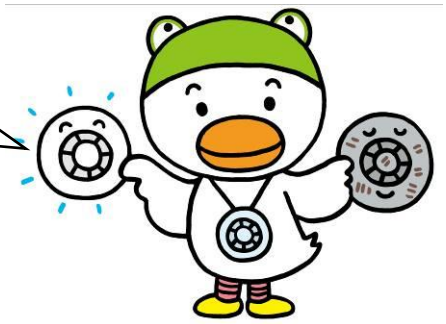
Q.どこにつければいいの？
寝る部屋と、寝る部屋が２階のときは階段に必ずつけなければいけません。
台所などにもつけるとさらに安心です。





Q．１度つければもう安心？
住宅用火災警報器は、半年に１回点検（ボタンを押すか、ひもを引いてメッセージが流れるか確認する）、１０年を目安に本体の交換をしましょう。
おうちの人といっしょに点検してみよう。

みんなの大切な命を守る警報器。
１０年たったらとりカエル。
覚えておいてね！



地震からの火事をふせぐ！

感震ブレーカー



大きなゆれを感じると、自動で電気を止めて、電気火災を防ぐしくみです。

① どうして必要なの？

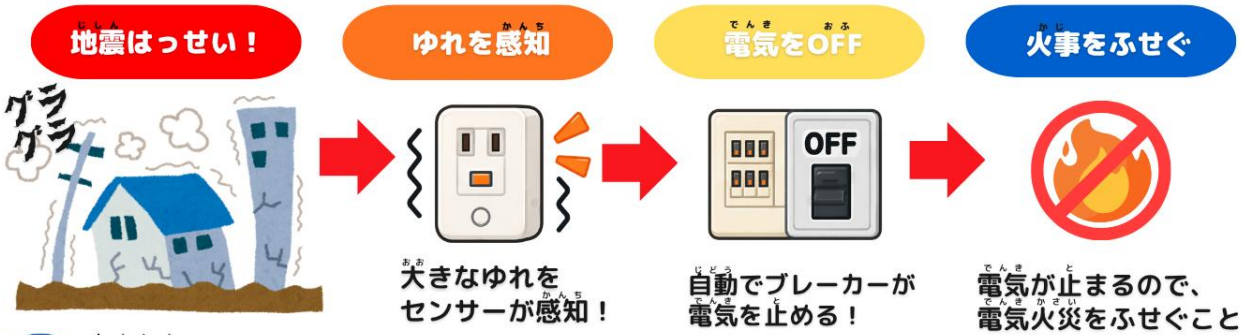
大きな地震が起きると、電気ストーブが倒れたり、電気コードが傷ついたりすることがあります。

地震で停電したあと、電気が復旧して再び流れると、火事が起きることがあります。 これを「通電火災（つうでんかさい）」といいます。

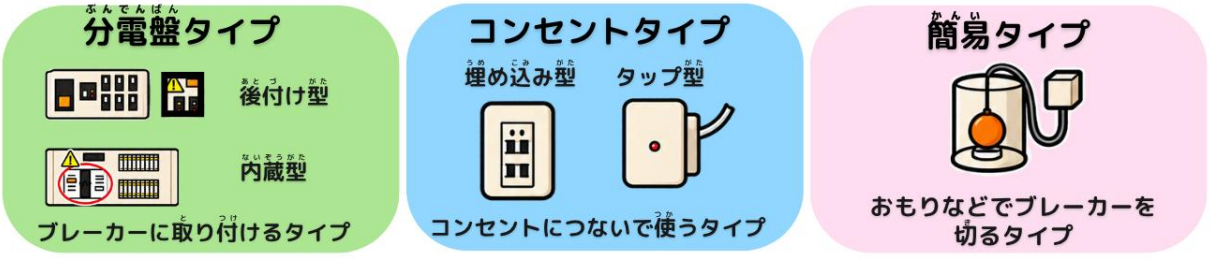
感震ブレーカーは、大きな揺れを感じると自動で電気を止め、通電火災を防ぐのに役立つ装置です。



② 感震ブレーカーのはたらき



③ 感震ブレーカーのタイプ



④ おうちの人と地震の備えをしよう！



- □ 感震ブレーカーはついているかな？
- □ 避難場所はわかるかな？
- □ 非常食は準備しているかな？
- □ 家具がたおれないようにしているかな？



メモ

かなら　まも
必ず守ろう！

1 火遊(ひあそ)びはしない。

2 花火(はなび)をするときは大人(おとな)といっしょにする。

3 ストーブなどの近(ちか)くに、ものをおかない。

